

# フェアトレードを広める様々な活動

団体名 ● FTGs / 代表者名 ● 水野朔良 (人文学部国際文化学科 4 年)

## はじめに

FTGs は、「フェアトレードの価値観、その考えを広めること」を目的とし、「商品開発の達成」と「地域イベントの積極的な参加」を目標に掲げ、1年間地域連携プロジェクトという活動に取り組んで参りました。我々が、フェアトレードの促進活動に取り組んでいる「背景」には、「金沢をフェアトレードタウンにする」という目標に掲げたフェアトレード金沢推進委員会に FTGs が所属していることが挙げられます。そもそもフェアトレードとは、単刀直入に言うと「公正な貿易」のことです。貧困のない公正な社会をつくることを目指し、途上国の経済的社会的に弱い立場にある生産者と経済的社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行い、かつ、環境や品質に配慮した持続可能な取引のサイクルを作り出しています。



## 活動内容

地域連携プロジェクトでは、主にフェアトレードフェスタの出店、勉強会、Instagram の投稿を行いました。フェアトレードフェスタでは、フェアトレードにまつわるクイズ、委託販売を行いました。委託販売は、昨年引き続きシャプラニールの商品を実際に販売しました。また FTGs 独自のブースでは、子供から大人まで楽しめるクイズにするために、難易度があ

る2種類のクイズを準備しました。準備をする際に改めてフェアトレードとはどういうものなのか、また1年生にも知識を付けてもらう良い機会となりました。そして、クイズの景品でフェアトレードのお菓子を渡すことで、フェアトレード商品が美味しい、と知って貰うことが出来ました。

次に、学校でフェアトレードの勉強や意義の再確認、今後の活動について話し合いました。Instagram の投稿では、勉強会で使用したフェアトレードのチョコレートやコーヒー、紅茶を投稿しました。今回使用した第三者世界ショップのチョコレートやコーヒー、紅茶は近隣のお店で販売していることが分かり、とても美味しかったので今後、個人的に購入したいとメンバーの間で話が出ました。そして FTGs の Instagram を通して、多くの人にフェアトレードの商品や感想を共有することで、購入するきっかけやフェアトレードや発展途上国の支援に繋がれば良いと思います。

## 成果、結果の考察

我々が掲げた目標に対する達成度は50%です。その理由として、地域イベントに参加はできたものの達成できなかった要因は、商品開発が出来なかった事です。

## 今後の課題、展望

今後の課題は、目標に沿って定期的な活動を行うことです。多くの新入生が加入してくれたのですが、スケジュール管理や連携がうまく取れず、商品開発の達成には至りませんでした。来年度はサークル内での結びつきを強化し、より多くの人たちにフェアトレードを知ってもらえるよう活動を行います。